

【施設状況】

グループ名称	篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園、茶臼山公園(植物園口駐車場)								
指定管理者名	一般財団法人 ながの緑育協会				法人番号	9100005011552			
所管課	主	202500	公園緑地課	副					
構成施設	2836	篠ノ井中央公園							
	5644	茶臼山自然植物園							
	2840	茶臼山公園(植物園口駐車場)							
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井中央公園(管理棟、トイレ棟、遊具等) ・茶臼山自然植物園(上部)(管理棟、四阿、トイレ棟、遊具等) ・茶臼山公園(植物園口駐車場) 								
施設設置目的	市民の憩いの場及び交流の拠点として設置。また、長野市緑を豊かにする計画(平成31年4月改定)により、篠ノ井中央公園は本市の「緑育の拠点」、茶臼山自然植物園(上部)は「緑育実践の場」として位置づけている。								
基本方針等	緑育を通じて長野の美しい自然を守り、緑を大切にす文化や人を育て、人と人をつながられるように、当該公園が緑育の拠点及び緑育の実践の場として相応しい適切な維持管理を行う。 あわせて指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、市民が足を運びたいと考える施設となり、利用者が世代を越えて交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。								
主な実施事業	管理棟、トイレ棟、遊具、四阿、駐車場、施設及び設備の維持管理に関する業務及び市が必要と認める業務								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般財団法人 ながの緑育協会		指定回数	1 回
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年
	管理運営開始日		平成28年4月1日	
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。			評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	市が示した基本方針に基づき、適切な管理運営ができています。財政状況や組織体制も特に問題ない。		

3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
		篠ノ井中央公園	人	64,817	63,990	58,952	52,197	89%	4
		茶臼山自然植物園	人	22,269	19,302	25,526	24,592	96%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和2年度】 4月から6月に企画した講習会や緑育活動を新型コロナウイルス感染防止の観点から全面中止したことにより、両施設の利用者数が伸びなかったが、7月以降は感染防止対策を講じたうえで、内容を工夫して開催し、例年の利用者数の水準維持に努めた。篠ノ井中央公園の利用者数の減少は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、ふわふわドームを通年において使用中止としたことが影響していると考えられる。									
事業実施内容		区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
事業実施内容		市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽管理(剪定・刈り込み、施肥、除草、花苗管理、病害虫管理) ・施設の維持管理および軽微な修繕の実施 ・日常的な巡視、遊具等の点検の実施 ・専門業者等による施設・設備等定期点検の実施 ・自動販売機の設置、販売 ・施設及び設備の維持管理に関する業務及び市が必要と認める業務(ボランティア登録者との緑化活動、施設を活用した講習会、園芸教室、展示会、花と緑の相談会) 		新型コロナウイルス感染防止対策を講じたが、人数の制限等ができないため、全て中止としたもの ・ボランティア養成講座「花と緑そして人を育てる講座」(年間12回開催)				
		自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑に関する知識や技術を深めるための各種講習会、気軽に参加して楽しめる園芸教室やワークショップを企画、開催した。 ①種まき講習会(8/21) ②育てて使う・楽しむハーブ講習会「ブーケガルニ」(9/23) ③秋の球根講座(10/23) ④ドライフラワーの花束教室(10/27) ⑤お正月のコケ玉づくり ⑥初心者向け初めてのプランターづくり ⑦春の寄せ植えづくり(3/23)、⑧植物の健康管理～肥料・薬剤について～(3/30) 		新型コロナウイルス感染防止対策を講じたが、人数の制限等ができないため、中止としたもの ・高校生の就業体験の受け入れ事業 ・各種団体との共催によるイベント開催 ・自然植物園での樹木・草花観察会				
サービス維持・向上の取組み(広報等)		<ul style="list-style-type: none"> ・各種講習会、園芸教室及び施設に関する情報をホームページやブログ、インスタグラムで発信するほか、ラジオ、広報ながの等でPRした。また、コロナ禍において自宅で楽しめるコンテンツの提供として、講習会の状況等をインスタグラムにより、動画での配信を行った。 ・篠ノ井中央公園の遊具付近に自動販売機を1台増設し、利用者の熱中症予防に寄与するとともにサービスの向上を図った。 							

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容		評価
利用者評価		利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法		4
			(2) 調査、会議等の内容 ・ながの緑育協会のホームページに利用者アンケートフォームを設けた。また、両施設に利用者アンケート用紙を設置するとともに講習会や緑化活動の参加者に同様のアンケート用紙を配布した。 ・各種講習会、園芸教室の参加者にアンケートを実施し、受講しての感想、意見、改善点等の回答を得た。 ・月に1～2回スタッフの全体会議を開催し、施設の異変や課題の洗い出しを行い、情報共有と改善策の検討を行った。		
利用者からの評価・苦情等		利用者からの評価	(3) 調査、会議等の結果 ・ながの緑育協会のホームページに寄せられた意見 3件 ・両施設の利用者講習会等の参加者から回答を得た利用者アンケート 60件 ・各種講習会、園芸教室の参加者アンケート (人気の高い講習会で実施) (・初心者向けプランターの土づくり講習会 11件 ・春の寄せ植えづくり 21件 ・植物の健康管理 30件 ・麦わら細工(ヒンメリづくり) 20件 ・ドライフラワーのキャンディ作り(アレンジメント) 16件 ・初心者向けコッパンの三色ヒメズグサ作り 15件)		
			(1) 良好とする評価 【篠中・茶臼 共通】 ・篠ノ井中央公園の園内に開花情報が掲示されていて良かった。・花壇や植栽帯がきれいなので、自宅の外構の参考にしたい。 ・子連れで良く遊びに来ているが、年代(幼児～中学まで)幅広く過ごせるのが良い。 ・以前より親子で遊ぶ姿が多く見られて雰囲気が良い。・木や草花で癒される。 【各種講習会、園芸教室等】 ・初めてで難しかったが、先生やスタッフの方が親切に教えてくれた。・受講料が安くとても満足した。・次回も受講したい。 ・キャンドルや、リースなど、季節のものが楽しめた。・材料が公園のものというのがとても良かった。・定期的に開催してほしい。 ・春だけでなく、季節ごとに寄せ植えづくりを開催してほしい。・感染対策がしっかりされていて安心した。・午前、午後の部と分けたことにより、少人数の受講で良かった。・庭造り講習、出張庭チェックをしてほしい。・ハーブ、調理(薬膳)について学びたい。		
利用者からの評価		利用者からの評価	(2) 苦情・改善等の要望事項 【篠中】 ・公園に風よけになるような休憩スペースがあるとよい。・公園に日影がほしい(犬も休めるような)・お茶を飲めるコーナーがほしい。・公園の駐車場に公園利用とは関係ない自動車が止まっている。・ふわふわドームはいつから利用できるのか(電話等の問い合わせ多数)。 【茶臼】 ・ホームページで茶臼山自然植物園のアスレチック遊具が使用不可となっているのを見たが、修繕の計画情報も掲載してほしい。・使用禁止になっているアスレチック遊具を早く修理してほしい。・茶臼山自然植物園にも開花情報を掲示してほしい。 【共通】 ・花のネームプレートをつけてほしい。・子どもと来るので、手洗い場に石けんがあったらうれしい。		
			<<対応措置>> ・樹木名版や花のネームプレートは、両施設において、掲示方法を研究し、順次設置している。 ・篠ノ井中央公園に昨年より、園内の開花情報を掲示するコーナーを設置した。茶臼山自然植物園への掲示も今後、検討していく。 ・篠ノ井中央公園の駐車場の違法車両については、見回り体制を強化し、長期間の駐車が認められた場合は、車両に警告表示をすることで当課と協議し徹底した。・公園の水飲み場に石けんは設置せず、感染予防として帰宅後に自宅でしっかりと手洗いを看板で呼びかけている。 ・茶臼山自然植物園のアスレチックは、当課と協議の上、できる範囲の修繕や撤去を行ったが、今後の修繕計画は当課にて検討するもの。・篠ノ井中央公園のふわふわドームについては、新型コロナウイルスの感染リスクが高いと判断し、当課で使用中止指示をしたが、現地との問合せに対して、スタッフが随時対応し、利用者の理解を得ることができた。		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価			
	項目	年度計画額		収支実績額		項目	令和2年度決算			令和元年度決算(前年度)		
		金額	金額	項目	金額		金額	金額		項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	47,460,000		利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	47,460,000		1,319,667		歳入	使用料 雑(納付金) <small>行政財産目的外使用料</small> 貸付料 その他	使用料 雑(納付金) <small>行政財産目的外使用料</small> 貸付料 その他
計	49,534,000		計	48,779,667			計	0	計	0		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	19,022,000 13,938,000 0 220,000 2,040,000 4,232,000 6,296,000 3,504,000 282,000		人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	18,878,075 14,845,001 0 850,284 2,039,743 2,789,209 6,072,477 3,167,798 272,670		48,915,257	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	45,000,000	
計	49,534,000		計	48,915,257			計	47,460,000	計	45,000,000		
自主事業	収入 支出 自主事業損益			収入 支出 自主事業損益	217,900 233,571 -15,671							
損益		0			-151,261	差引			-47,460,000		-45,000,000	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)										38.6%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由					令和2年度は、コロナウイルス感染防止の観点から、理事会、評議員会、その他会議を书面開催及び中止したことにより、会議費及び会議出席に伴う役員報酬が減額となったため。							

5 管理運営全般 ※すべてで、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 正規職員2人(2人)、臨時職員4人(4人)、パート職員3人(3人) 計9人(9人) :事務局長1人(パート)、施設長1人(臨時)、総務担当1人(臨時)、緑育担当3人(正規2人、パート1人)、 管理担当3人(臨時2人、パート1人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	2
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・地元団体の主催するイベントに参加し、地域住民と交流を深める計画をした。 ・地元高校から就業体験として生徒を受け入れる計画をした。 ・職員は、市内在住者を雇用了。 ・植栽管理や施設管理に関係する委託先として、市内業者を採用した。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、地元団体主催のイベント及び、地元高校の就業体験が中止となったため、未実施であった。

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	6	
地域連携	2	4	
合計得点			

評価理由

- 公園の植栽や花壇を活用した講習会や園芸教室の他、園内の剪定枝や木の実を利用したワークショップの開催など、園内のものを有効利用し、効率的で持続可能な取り組みであると評価したため、「施設の有効活用」を「4」とした。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、事業を全面中止とした期間もあったが、感染防止対策を講じたうえで企画内容を工夫し、可能な範囲で講習会や園芸教室を極力開催し、利用者のサービス向上に努めた。その結果、受講者アンケートでは、高評価を得ることができたと同時に、受講者の花と緑に対する意識の高まりの効果が見られたため、「利用者評価」を「4」とした。
- 令和2年度の事業収支については、開催を中止し不用となった緑育に関する事業費を当課と協議し、園内の危険箇所改善の費用として当てたもの。その結果、茶臼山自然植物園の危険木伐採及びアスレチック遊具の撤去等を実施し、設備管理費及び修繕費において予算額を超えての支出となったが、利用者の安全確保に貢献した点を評価したため、「事業収支」は「3」とした。
- 地域住民との連携、交流を深める目的で計画をした地元団体主催のイベント参加及び地元高校の就業体験受け入れについては、新型コロナウイルス感染症の影響ではあったが、未実施であったため、「地域連携」を「2」とした。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> 篠ノ井中央公園の植栽帯の高木類の樹勢回復の実施が必要である。 茶臼山自然植物園のアスレチックについて、遊具の修繕、復旧とともにエリア内の倒木の危険性を確認し、エリア全体の活用方針の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 芝生広場の桜と郷土の杜の樹木について、施肥、剪定、病害虫駆除等を重点的に行った。回復傾向にあるが、緑陰創出には十分と言えない状況である。 茶臼山自然植物園アスレチック内の倒木により破損した遊具の撤去と、危険木の伐採を指定管理者が実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、篠ノ井中央公園の植栽帯の高木類を適正に管理し、樹勢回復を継続して行う。 使用禁止措置としているアスレチック遊具の修繕方針を検討するとともに、ホームページに掲載している使用禁止遊具の情報を見やすい内容に更新する。 茶臼山自然植物園の危険木を早期発見し、対処することに加え、害虫被害も確認されているため、今後、専門技術者の指示を仰ぎ対応する。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)

- 令和2年度試行的に行った植栽管理の範囲について、実績を基に再検討し、重点的に維持管理を行う範囲を絞り込み、施設の管理水準の向上に努める。
- 園内の花壇や植栽を活用した実践形式の講習会やワークショップの開催、ボランティア会員の活動支援等を引き続き行い、施設の維持管理と緑育活動を一体的に行う公園の管理・運営を目指す。また、令和2年度に始動したコミュニティーガーデンの充実を図る。
- 引き続きインターネットやメディアを活用し、施設の情報発信、PR活動を行う他、長野県SDGsへの登録やグリーンインフラへの登録等、新たな取り組みを行い全国へ向けた活動のPRと、更なるながの緑育協会の知名度の向上を図る。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

日常的な園内の見回り、ゴミ拾い、トイレ清掃や道具及び施設点検を実施することで、公園施設をより安全に、快適にご利用いただけるよう努めた。また、花壇植栽による園内美化に努めるとともに、新たに掲示板を設置し、花の名前や見ごろなどの開花情報やイベント情報等を掲示することで、より充実した公園利用の形を整備した。昨年度末からの外出自粛や三密回避など、新型コロナウイルス感染拡大防止の時代背景に伴い、公園利用のニーズが増加傾向にあった。こうした状況を踏まえ、トイレ清掃、トイレトイレットペーパー補充の強化や新型コロナウイルス注意喚起看板の更新を行うなど、時代背景やニーズに応じた公園維持管理とサービス向上に努めた。

講習会などの緑育活動については、6月まで全面中止、7月より感染防止対策を講じたうえで順次開催した。密を避けるため定員を規制する代わりに午前中の部午後の部を設けたり、屋外でも実施が可能な内容を企画するなど工夫を凝らした。参加者へのアンケートを講習会毎に実施し、人気の高い講習会の頻度を増やしたり、改善点や要望を踏まえた企画作りに励んだ。コロナ禍における植物ワークショップや自宅の庭づくりについても人気が高まっているため、こうしたアンケートの意見フィードバックや、日常の植物についての問い合わせにも積極的に取り組み、サービス向上に力を入れている。講習会の開催情報、園内開花情報、イベント結果等については、協会HPやブログ更新、広報ながの、ラジオ、インスタグラム等で情報発信を行い、意見の反映や対応を迅速に行えるよう取り組んでいる。

② 業務の効率化に対する取組み

月に1~2回の全体会議において、日常的な管理における園内状況を全職員で共有している。施設の異変、倒木や病害虫の有無、芝刈、草刈りの時期や回数、施肥や花壇植栽について、講習会の改善点や企画など、状況の把握を行い、対応の可否を決定することで、迅速な問題点の解消に努めている。植栽についての問題点は、早期発見における初期対応や、病害虫発生時期予測、気象条件を考慮することにより最小限の作業量で対応が可能となるため、作業スケジュールの事前準備を行い、業務の効率化を図っている。また、薬剤、資材、機材、花苗等は、作業効率の良いものや病害虫に強い品種を選定するなど、作業負担軽減や持続可能な管理に向けて最善な選択を心掛けている。茶臼山自然植物園の植栽管理については、利用者が頻繁に利用する園路沿いや駐車場等施設周辺を重点的に管理を行うよう綿密に計画し、管理上支障のない程度に範囲を限定することで、効率的かつ無駄のない管理を継続して行えるよう工夫している。また、広範囲にわたる園内の植栽管理については、実績を有する造園業者に業務を委託し、各現場監督と密に連絡を取り合い、気象条件による雑草の繁茂状況や薬剤における雑草防除計画など、情報の共有をしながら、状況に応じた適切な管理ができるよう努めている。

③ その他

持続可能な維持管理の取り組みとして、篠ノ井中央公園に新たに落ち葉堆肥ボックスを設置した。毎年の落ち葉拾いをより効果的に、無駄なく利用できるよう、園内の落ち葉をボックスに集め、米ぬかや発酵促進剤を用いて腐葉土づくりを開始した。園内発生材を活用した花壇づくりや植栽管理に役立てたい。その他、園内の剪定枝や木の実を利用したワークショップ、花壇を使った講習会の実施など、公園施設を活用した緑育活動を多数企画、実施した。また、公園管理を市民との協働で行うコミュニティガーデンも始動している。このような公園管理と緑育活動とを連動させた一体的な管理運営にシフトしていく体制づくりに努めた。

講習会や各種企画が中止され、思うような活動ができない状況ではあるものの、公園利用者の増加に伴い、園内に設置した掲示板の内容充実による公園のPRに力を入れたり、自宅にいながらも楽しめるコンテンツの提供として、インスタグラムへの花、活動風景等、画像のみならず動画での投稿も開始しており、インターネットを通じた情報発信も積極的に取り組んでいる。コロナ禍の時代背景に伴い、さらなる公園施設のサービス向上や知名度向上が求められるが、できる範囲での活動をさらに充実していくことで、知名度向上のチャンスととらえ、実践している。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

篠ノ井中央公園について、昨年度も課題として挙げた高木類の樹勢回復を継続して行う必要がある。特に芝生広場のソメイヨシノや郷土の杜については、快適な公園利用に不可欠な緑陰創出の役割があるため、重点的に着手した。令和3年度にかけても施肥、剪定、病害虫防除など効果的で効率的な計画を立て、作業を進める予定となっている。

茶臼山自然植物園について、アスレチックの老朽化に伴う修繕や撤去の対応、また、枯れ枝の落下や倒木・危険木の対応が課題として挙げられる。アスレチックについては、公園緑地課と協議のうえ、修繕又は撤去対象を決定し、対応したが、年度末に行われた遊具点検結果により新たに検討が必要となった対象があるため、令和3年度も引き続き対応を検討していく。同時に、アスレチック利用者のための最新かつ正確な情報開示が求められるため、公園緑地課と密に連絡を取りながら実施していくことが課題となる。枯れ枝や倒木・危険木についても、昨年度課題に挙げたものについては剪定及び伐採が完了したが、新たに対応が必要な枯損木や危険木が目立つようになった。アスレチックと危険木の立地が重なる箇所もあり、アスレチックの対応と併せ公園緑地課と協議を行い、特殊な技術を有する業者に剪定及び伐採業務を依頼した。引き続き危険木の早期発見、対処が必要になってくることに加え、カシノナガキクイムシによる被害も確認されたため、樹木医との綿密な相談のうえ、迅速な対応が今後の課題となっている。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る
- 【B】計画や目標を上回る
- 【C】計画や目標どおり
- 【D】計画や目標を下回る
- 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

指定管理(公園管理)について、大幅な予算見直しによる業務内容、範囲、回数の変更を行ったことで、両公園の管理水準は部分的に低下した。しかし試行的に回数を減らした箇所については、来年度以降に効果的な管理を計画する指標となったり、公園利用者が頻繁に利用する範囲については重点的に管理を行うことで、利用者サービスの質の低下を回避しつつ、効率的な管理となるよう工夫した。全体を通してみれば、これまで確立してきた効率的な維持管理方法やノウハウを生かしながら、重点的に行う箇所と簡略化する箇所を区分けすることで、公園全体の管理をまかなうことができた。それに加え、次年度に生かせるよう試行や研究を重ねて実施したことを評価したい。

緑育事業について、6月まで全面的に中止したものの、それ以降は長野市の指針に従い、ボランティア組織「緑育倶楽部」による緑化活動、各種講習会の開催(13回、自主事業含む)、展示会の開催(1回)、花いっぱい会活動支援など企画・運営を停止することなく実施してきた。コロナ禍に伴い花と緑の利用意識が高まる中で、緑育協会として市民の皆様のニーズに応える体制を継続し、公園管理と緑育活動を連動させた一体的な管理運営ができたことは評価に値すると考える。

また、落ち葉ボックス設置、園内発生材や施設を活用した講習会など、園内のものを効果的に利用し、持続可能な公園管理の実現を目指したり、園内掲示板の活用やSNS発信により公園利用者の関心を高めたりすることで、管理側と利用者双方にとってより充実した公園となるような運営に努めたことも評価したい。

② 次年度以降の取組み

試行的に回数を減らした植栽管理箇所について、範囲と予算を調整し、回数の増を行うことで、予算内での管理水準の向上を図る。また、引き続き重点的に行う範囲と最低限の管理を行う部分の研究、検討を重ね、より効率的な管理となるよう計画していく。

落ち葉ボックスについて、腐葉土づくりのボックスに加え、落ち葉お持ち帰り用ボックスの設置を検討している。園内で発生した落ち葉を集めておき、希望する方に自由に落ち葉をお持ち帰りがたくサービスで、発生材の活用、利用者サービス向上の一層の充実を目指す。講習会等の企画では、園内植栽木を利用した実践形式の剪定教室や、ハーブガーデンを利用した講習会など、園内花壇や植栽を生かし、公園管理と緑育活動を一体的に行うよう工夫を凝らす。また、コミュニティガーデンの継続、充実を図り、公園管理を市民との協働で行うモデルづくりにも力を入れていく。

活動のPRや第三者からの評価を得る場として、長野県SDGsへの登録や、グリーンインフラへの登録を進め、協会の知名度向上と併せ全国に活動をPRしていく。快適な環境づくりや発生材の再利用、市民との協働など、SDGs達成のための重要な項目となってくるため、活動の柱として重点的に行っていくと考えている。